

ビジネスの言葉遣い II

間違い電話

➡ 番号違いであることを伝える

例文：

失礼ですが、どちらにおかけでしょうか。

こちらにアキラという者はおりませんが…。

いいえ、違いますが…。

➡ 相手確かめる

例文：

すみません、1357の2468ではないでしょうか。

申し訳ありません、TR社ではないですか。

➡ 間違い電話をわびる

例文：

あ、失礼しました。

申し訳ありませんでした。

あれ、間違えました。すみません。

➡ 相手の名前を確認する

例文：

失礼ですが、どちら様でしょうか。

失礼ですが、どちら様でいらっしゃいますか。

鈴木アキラ様ですか。

スペルでお願いできますか。

➡ 声が聞き取れないとき

例文：

ちょっとお声が遠いんですが。

お電話が遠いようなんですが。

申し訳ございませんが、もう一度（ゆっくり）言っていただけませんか（でしょう）か。

そのほかのトラブル

➡ 内容がわからないとき

例文：

申し訳ありません。私ではわかりかねないので、ほかの者とかわります。
少々お待ちください。

私にはわかりかねますので、少々お待ちいただけますか。



返事ができない質問の場合

例文：

私ではわかりかねますので、ちょっとお待ちいただけませんか。



中断しなければならなくなったとき

例文：

申し訳ありません。ちょっと急用ができてしまいまして、折り返しお電話いたすということで、よろしいでしょうか。